

統計トピックスNo. 66

^み
「巳年生まれ」と「新成人」の人口

— 平成25年 新年にちなんで —

(「人口推計」から)

^み
巳年生まれは1020万人

新成人は122万人

総務省統計局では、新年を迎えるに当たり、平成25年1月1日現在における^み「巳年生まれ」の人口と「新成人」の人口を推計しました。

要 約

I ^み 巳年生まれの人口は1020万人

- 男性は494万人，女性は526万人
- 昭和40年生まれが最も多い
- 十二支の中では10番目

II 新成人人口は122万人

- 新成人人口は122万人で昨年と同数
男性は63万人，女性は59万人
- 新成人人口の総人口に占める割合は3年連続で1%を割り込む

I ^み巳年生まれの人口は1020万人

男性は494万人，女性は526万人

平成25年1月1日現在における^み巳年生まれの人口は1020万人で，総人口1億2747万人に占める割合は8.0%となっています。

男女別にみると，男性は494万人，女性は526万人で，女性が男性より32万人多くなっています。 (表1，表2)

昭和40年生まれが最も多い

^み巳年生まれの人口を出生年別にみると，昭和40年生まれ（平成25年に48歳になる人）が178万人と最も多く，次いで昭和52年生まれ（同36歳になる人）が171万人，昭和28年生まれ（同60歳になる人）が168万人，昭和16年生まれ（同72歳になる人）が166万人，昭和64年・平成元年生まれ（同24歳になる人）が125万人，平成13年生まれ（同12歳になる人）が116万人などとなっています。

なお，年齢差が60歳の昭和16年生まれと平成13年生まれを比較すると，平成13年生まれが昭和16年生まれより50万人少なくなっています。 (表2，図2)

十二支の中では10番目

総人口を十二支別にみると，^{うし}丑年生まれが1145万人で最も多く，^ね子年（1127万人），^{たつ}辰年（1116万人）と続いており，^み巳年生まれは10番目となっています。

(表1，図1)

表1 十二支別人口

十二支	人口 (万人)	総人口に 占める割合 (%)	人口 順位
総数	12747	100.0	—
子(ね)	1127	8.8	2
丑(うし)	1145	9.0	1
寅(とら)	1110	8.7	5
卯(う)	1094	8.6	6
辰(たつ)	1116	8.8	3
巳(み)	1020	8.0	10
午(うま)	968	7.6	12
未(ひつじ)	1027	8.1	7
申(さる)	1022	8.0	8
酉(とり)	981	7.7	11
戌(いぬ)	1022	8.0	8
亥(い)	1114	8.7	4

図1 十二支別人口

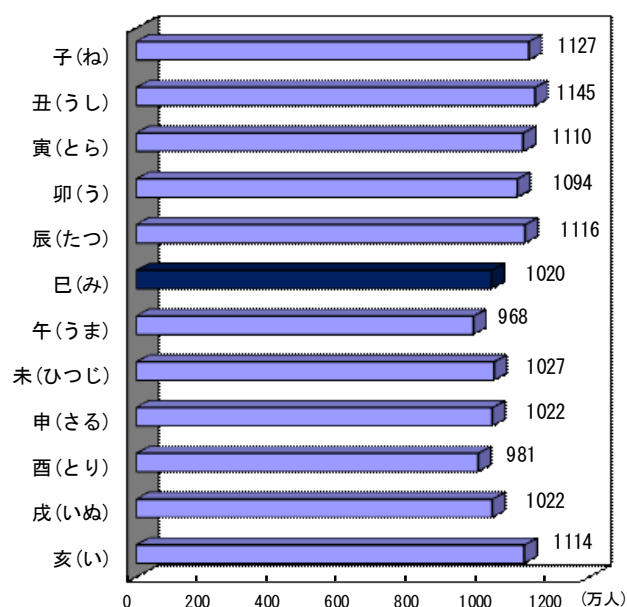


図2 男女、出生年別^み已年生まれの人口

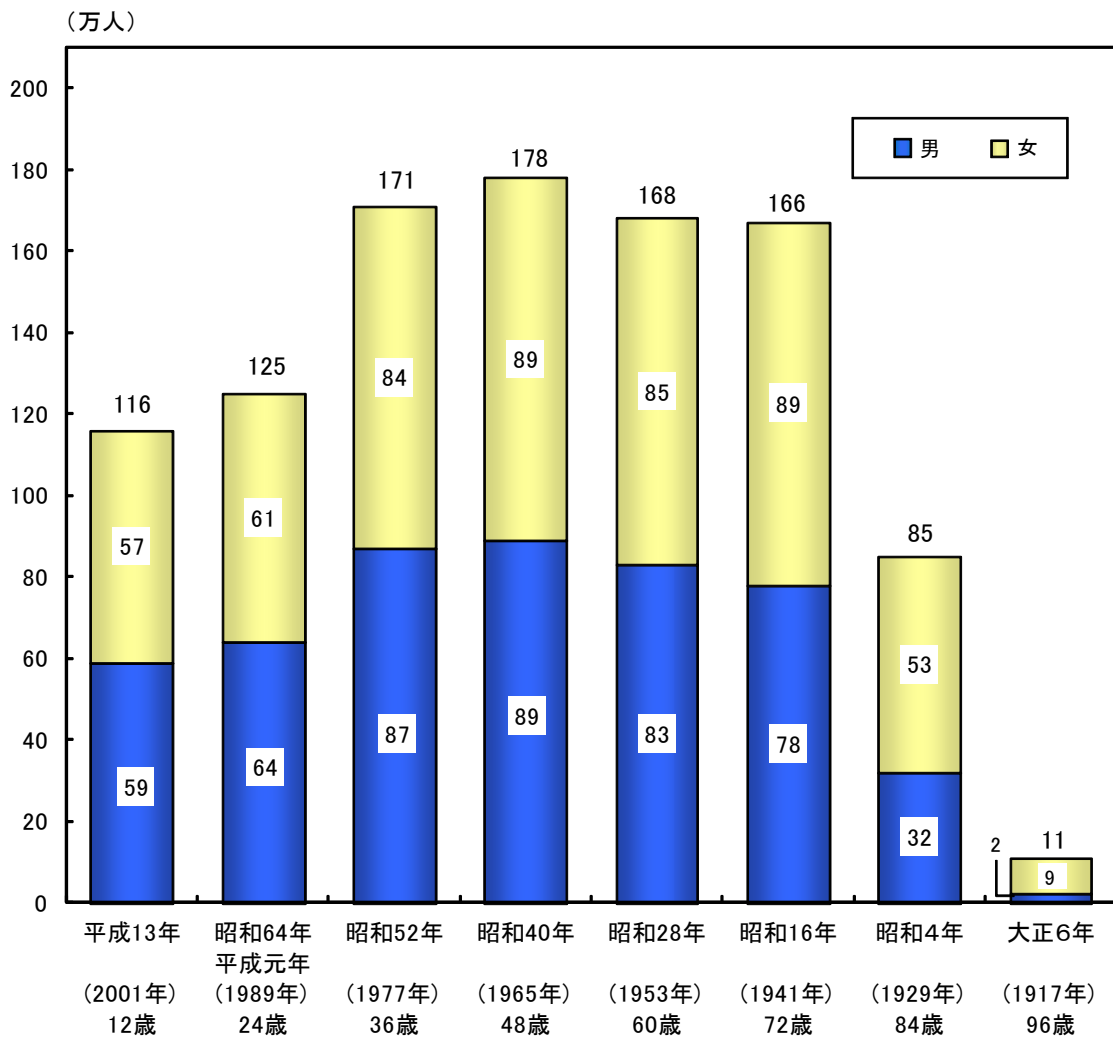


表2 男女、出生年別^み已年生まれの人口

生まれた年・年齢			男女計	総数に占める割合	男	総数に占める割合	女	総数に占める割合
			(万人)	(%)	(万人)	(%)	(万人)	(%)
総数	—	—	1020	100.0	494	100.0	526	100.0
平成13年	(2001年)	12歳	116	11.4	59	12.0	57	10.8
昭和64年 平成元年	(1989年)	24歳	125	12.3	64	12.9	61	11.7
昭和52年	(1977年)	36歳	171	16.8	87	17.5	84	16.0
昭和40年	(1965年)	48歳	178	17.4	89	18.0	89	16.9
昭和28年	(1953年)	60歳	168	16.5	83	16.8	85	16.2
昭和16年	(1941年)	72歳	166	16.3	78	15.7	89	16.8
昭和4年	(1929年)	84歳	85	8.3	32	6.5	53	10.0
大正6年	(1917年)	96歳	11	1.1	2	0.4	9	1.7

- * 数値は万人単位に四捨五入してあるので、内訳の合計は必ずしも総数に一致しない。
- * 割合は表章単位未満を含んだ数値から算出している。
- * 図及び表中の年齢は、平成25年に誕生日を迎えた時の年齢
- * 十二支別人口は、1月1日現在の推計のため、平成25年^み生まれの已年の人は含まれない。

II 新成人人口は122万人

新成人人口は122万人で昨年と同数
男性は63万人、女性は59万人

この1年間（平成24年1月～12月）に、新たに成人に達した人口（平成25年1月1日現在20歳の人口）は122万人で、昨年と同数となっています。

男女別にみると、男性は63万人、女性は59万人で、男性が女性より4万人多く、女性100人に対する男性の数（人口性比）は105.4となっています。（表3）

新成人人口の総人口に占める割合は3年連続で1%を割り込む

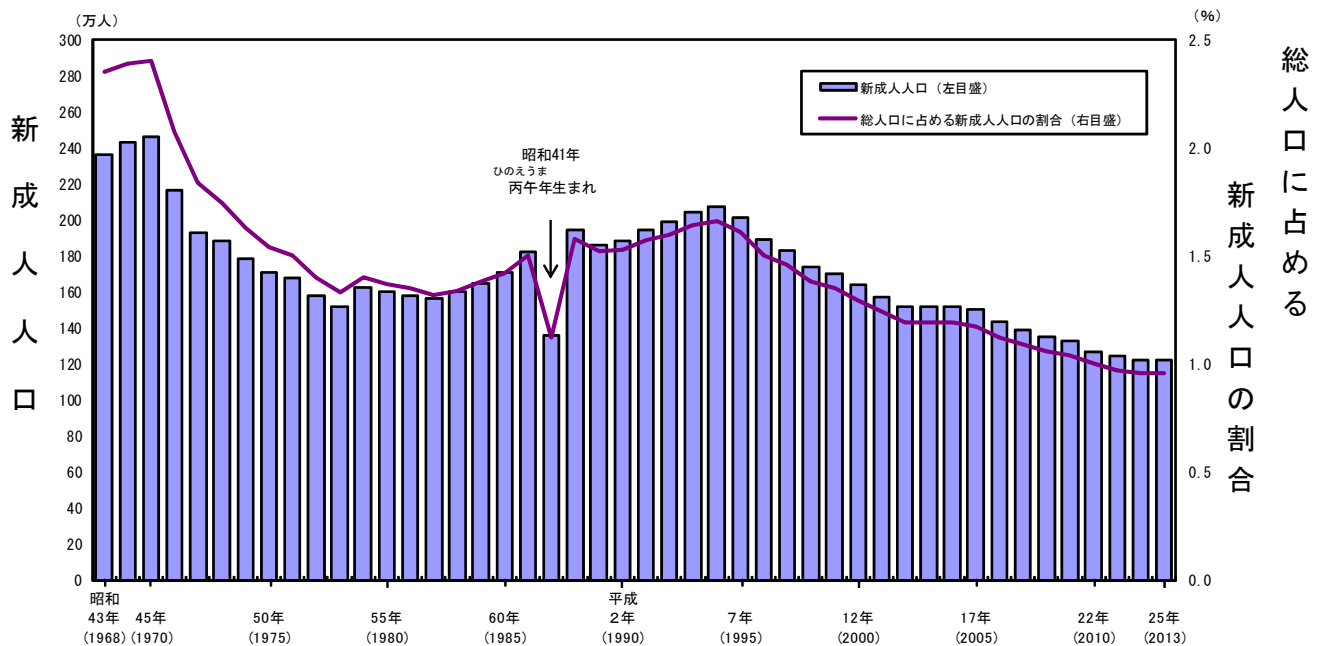
新成人人口について、この推計を開始した昭和43年からの推移をみると、第1次ベビーブーム世代の昭和24年生まれの人が成人に達した45年が246万人で最も多くなった後、減少に転じ、53年には152万人となりました。その後、昭和50年代後半から再び増加傾向を続け、第2次ベビーブーム世代の人が成人に達した時に200万人台（最多は平成6年207万人）となった後、平成7年に再び減少に転じて以降は減少傾向を続けています。

表3 新成人人口の推移（各年1月1日現在）

年次（西暦）	新成人人口 （万人）			総人口に 占める 割合（%）	人口性比	年次（西暦）	新成人人口 （万人）			総人口に 占める 割合（%）	人口性比
	男女計	男	女				男女計	男女計	男		
昭和43年（1968）	236	119	117	2.35	101.6	平成3年（1991）	194	99	94	1.57	105.4
44（1969）	243	123	121	2.39	101.9	4（1992）	199	101	97	1.60	104.2
45（1970）	246	124	123	2.40	101.0	5（1993）	204	104	99	1.64	105.0
46（1971）	216	110	106	2.07	103.9	6（1994）	207	106	101	1.66	105.0
47（1972）	193	98	96	1.84	102.0	7（1995）	201	103	98	1.61	105.6
48（1973）	188	94	94	1.74	100.8	8（1996）	189	97	92	1.50	105.3
49（1974）	178	89	89	1.63	100.6	9（1997）	183	94	89	1.46	104.7
50（1975）	171	87	84	1.54	103.6	10（1998）	174	89	85	1.38	105.0
51（1976）	168	86	83	1.50	103.7	11（1999）	170	87	83	1.35	105.2
52（1977）	158	81	77	1.40	104.5	12（2000）	164	84	80	1.29	105.4
53（1978）	152	77	75	1.33	102.8	13（2001）	157	81	77	1.24	105.3
54（1979）	162	82	80	1.40	103.3	14（2002）	152	78	74	1.19	104.7
55（1980）	160	81	78	1.37	103.9	15（2003）	152	77	74	1.19	104.7
56（1981）	158	81	78	1.35	104.3	16（2004）	152	78	74	1.19	104.7
57（1982）	156	80	76	1.32	104.5	17（2005）	150	77	73	1.17	104.9
58（1983）	160	81	78	1.34	104.2	18（2006）	143	73	70	1.12	105.0
59（1984）	165	84	81	1.38	104.3	19（2007）	139	72	67	1.09	106.4
60（1985）	171	87	83	1.42	104.8	20（2008）	135	69	66	1.06	105.2
61（1986）	182	93	89	1.50	104.2	21（2009）	133	68	65	1.04	104.9
62（1987）	136	70	66	1.12	105.7	22（2010）	127	65	62	1.00	104.7
63（1988）	194	99	95	1.58	103.9	23（2011）	124	63	61	0.97	104.2
64・ 平成元年 （1989）	186	96	91	1.52	105.3	24（2012）	122	62	60	0.96	104.9
2（1990）	188	97	92	1.53	105.5	25（2013）	122	63	59	0.96	105.4

平成25年の新成人人口は122万人、総人口に占める割合は0.96%と過去最少だった前年とそれぞれ同値となっており、総人口に占める割合は3年連続で1%を割り込んでいます。(表3, 図3)

図3 新成人人口及び総人口に占める割合の推移 (各年1月1日現在)



- * 数値は万人単位に四捨五入してあるので、内訳の合計は必ずしも総数に一致しない。
- * 割合は表章単位未満を含んだ数値から算出している。

e-Statですぐ・よくわかる!



統計情報データベースを使うと、人口ピラミッドなどのグラフも簡単にできる!



統計GISを使うと、地図上に統計データを色分けして表示できる!

e-Statを使って日本と地域のすがたを調べてみよう!


「e-Stat」で検索してください!

※ 人口推計は、国勢調査による人口を基に、その後の人口動向を他の人口関連資料から得て算出している。

- ◆ 「人口推計」の詳しい結果を御覧になる場合は、次のURLを参照ください。
<http://www.stat.go.jp/data/jinsui/index.htm>
- ◆ このトピックスは、次のURLから御覧になれます。
<http://www.stat.go.jp/data/topics/index.htm>
- ◆ このトピックスに掲載されている解説文、図等の情報を引用・転載する場合には、出典の表記をお願いします。
 (例)「統計トピックス No.66」(総務省統計局)

【問合せ先】

総務省統計局 統計調査部 国勢統計課 人口推計係
 〒162-8668 東京都新宿区若松町19番1号
 TEL : 03(5273)1009
 FAX : 03(5273)1552
 Eメール: c-suikei@soumu.go.jp



総務省統計局
Statistics Bureau
Ministry of Internal Affairs
and Communications of Japan